

第2回企画展 好評開催中

ある郷土史家の見たふるさと高津



「明治維新时期における溝ノ口の生・老・死 ～医療と衛生～」

6月24日(土)～7月30日(日)上記のテーマで企画展を開催しています。
幕末から明治維新にかけて、人々はどうのような生活をしていたかについて、今回は医療と衛生に焦点をあて、上田氏の史料をもとに解説しています。どうぞお出かけください。

展示期間：午前10時～午後5時まで 大山街道ふるさと館1F 展示室
入場無料

第2回企画展 記念講演会参加者募集中 7月16日(日)

医学博士・医学史研究家の深瀬泰旦氏を講師にお迎えして企画展記念講演会を行います。

演題「オランダ医学で結ばれた太田東海と手塚良仙」

～漫画家手塚治虫のルーツをたずねて～

- ◆会場：大山街道ふるさと館イベントホール（午前10時～12時）
- ◇申込み：現在受付中 定員60名（先着順）
- ◆参加費：500円（資料代含む）



▲昨年の講演会の様子

中学生のための郷土理解講座 「探ろう！大山街道の歴史」

募集

- 日時 8月8日(火) 午前10時～12時
- 講師 東原信行(ふるさと館職員)
- 会場 大山街道ふるさと館イベントホール
- 定員 60人(先着順)
- 対象 中学生
- 参加費 無料
- 申込み 7月8日(土)から電話、FAX、当館の窓口で受付けます。



▲昨年の中学生講座

歴史探究講座 第1回講演会 参加者募集

六郷の渡し・六郷橋 (渡しと橋シリーズ パート1)

多摩川は古くから洪水の度に大きく流れを変え今日の姿があります。今回は代表的な表街道として発展した東海道の川崎宿に至る「六郷の渡し」と後に近代的な橋として架け替えられた「六郷橋」に焦点を当て解説をしていただきます。

- ◇テーマ 「六郷の渡し・六郷橋」
- ◆日時 9月16日(土) 午前10時～12時
- ◇講師 望月一樹氏(シルク博物館学芸員)
- ◆会場 大山街道ふるさと館イベントホール
- ◇定員 60人(先着順)
- ◆参加費 500円(資料代含む)
- ◇申込み 8月16日(水)から電話、FAX、当館の窓口で受付けます。



▲六郷の渡し跡

好評！ ミニ企画展開催中

切り絵 ～ 散歩道で ～

6月1日(木)～7月31日(月)

ご出展をいただいて3年目を迎えます青木幸夫氏(元教員・趣味の切り絵作家)の作品を今年もミニ企画展で展示しております。ぜひご来館ください。
来春に第2弾も開催を予定しています。



第1回ふるさと発見講座終了 5月28日(日)

「川崎の発展に尽くした人物伝 ～高津に身を捧げた大島宗美～」

当日は、講師に郷土史家の對馬醉一氏をお迎えして第1回ふるさと発見講座が開催されました。講演のテーマは、大島宗美という人物像です。大島宗美は、測量技師として日本最初の迅速測図を作成した人物です。

大島は、現在の宮前区付近の測量を担当し、二子村「亀屋」に宿を置き、大山街道をいく度となく往復しました。明治14年当時、陸軍の軍制改革(フランス式からドイツ式)問題や地区国外漏洩問題で関係者が嫌疑をかけられ、彼も「亀屋」で自ら命を絶ちました。

光明寺に眠る墓碑には、大島宗美の生い立ちや功績を称える碑文が書かれています。参加者からは、「大島宗美という人物を初めて知った。光明寺に行ってぜひ、墓にお参りをしたい。」などと感想をいただき、盛り上がりを見せた講演会になりました。



子ども大山街道探検クラブ活動紹介

4月 26人のメンバーで活動がスタート

“子ども達の郷土愛を育む”ことをねらいに発足した「探検クラブ」は今年で8年目を迎えました。近隣の小学校5校の子ども達26人がメンバーです。早速グループに分かれて館内を見学。展示室では、説明する講師の話に熱心に耳を傾けていました。

5月 大山街道の探検（溝口神社・宗隆寺・片町庚申塔）

5月17日（水）初夏を思わせる陽気の中、3班に分かれて初めて町探検に出かけました。途中、講師の中平先生から「今、皆さんが歩いている道は昔、ニヶ領用水が流れていました。」という話に驚いたように聞きっていました。



6月 ニヶ領用水、円筒分水の見学

6月21日（水）は、ニヶ領用水・久地の円筒分水の見学に出かける予定でしたが、悪天候のため室内学習に切り替え、プリントやビデオを使ってグループ学習をしました。映像を通して、昔のニヶ領用水の様子や円筒分水の構造などをよく理解していました。



第1回企画展 ～ふれあいクラブ高津～「趣味の作品展」終わる

6月16日（金）～19日（月）に当館で開催され、好評のうちに無事終了しました。この期間、地域の多くの方が参観され、会員の皆様167点の力作ぶりに感心されました。中でも出展された最高齢者、石井絹子さん（99歳）の水彩画「帽子とレモン」の作品に多くの人が足を止めていました。

文化部長の森さんは、「毎年この施設を使わせていただいととても感謝しています。私たちも励みになっています。」とうれしそうに話をしてくださいました。



春のふるさと館まつり 好評のうちに終わる

5月28日（日）に当館で開催され、好評のうちに無事終了しました。当日は、中庭で高津さんの市・地場野菜の販売。そして、館内のイベントホールではダンスラボラトリーの皆さんによるダンスの披露。めんどりの会の皆さんによる絵本の読み聞かせ。そして、スタンプラリーでは大勢の親子や子ども達が館内を巡りクイズに答えたり、プレゼントをもらったりして楽しんでいました。



▲スタンプラリーの様子

一同時開催「第1回 街（まち）のマイスター体験講座」一

当日は、ふるさと館第2会議室で22人の参加者を募り、お米マイスターの関屋さんを講師に「お米の得する話とおいしいごはんの食べ比べ」の講座を実施いたしました。前半は、お店で扱っている8種類の玄米の特徴についてお話を聞きました。後半では、3種類のごはんを食べ比べて味の違いを楽しむなどして、思い思いに食べ比べながら「おいしい、おいしい」という声が会場いっぱい広がっていました。

まちの魅力再発見

<新シリーズ>

高津の町を中心に名所・史跡をシリーズで紹介します。町巡りの参考になれば幸いです。



“第2回 久地の梅林公園”

（所在地：高津区久地）

南武線久地駅から府中街道を東へ徒歩15分ほど歩くと、ほど良い広さの公園に辿り着きます。ここが「久地梅林公園」です。この周辺一帯は、江戸時代からの梅林でかつては多くの花見客でにぎわっていました。この梅林は徳川吉宗が久地村の庄屋、川辺森右衛門に命じ屋敷の内外に梅の木数百本を植えたのが始まりといわれています。1927（昭和2）年に開通した南武鉄道が「久地梅林駅（現在の久地駅）」と称し、玉川電車も沿線観光絵はがきなどで宣伝したことで一層有名になりました。しかし、時代とともに梅林は次第に削られ、現在は限られた私有地内にわずかに残るのみになっています。唯一、バス停や交差点名に「梅林」の名が、当時の面影を残しています。



▲北原白秋の歌碑

2003（平成15）年に川崎市が新平瀬川沿いに「久地梅林公園」を設置し、その中に新たに梅の木を植えました。また、北原白秋がこの地を訪れて、そのすばらしい梅の花に感動して詠んだ「君（鉄幹）がため未明（まだき）に起きて梅のはな 見ずに来りけり まさやけき花」という歌碑が建てられています。現在、整備されたこの公園は、市民の大切な憩いの場になっています。

第44回 高津区民祭

地域トピックス

今年も大山街道ふるさと館を本部として、7月30日（日）第44回高津区民祭が開催されます。中でも「お神輿パレード」や「楽団・踊りのパレード」など迫力があります。本部席を前にして繰り広げられるパフォーマンスでは、大勢の観客から拍手喝さいが送られ、祭りは最高潮を迎えます。また、この日は、ふるさと館に展示されている「納め太刀」も町内の人達によって担がれ、大山へ向かう当時の道中の様子を偲ぶことができます。



▲昨年の区民祭のパレード

申込み・問合せ 大山街道ふるさと館

〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3

電話：044（813）4705 FAX：044（814）0250

開館 時間 ・9：30～21：30（常設展示 10：00～17：00）

休 館 日 ・年末年始（12月28日～1月4日）

施設点検日 ・毎月 最終金曜日

床 清 掃 ・奇数月 第3水曜日

※施設点検日、床清掃日は会議室等の利用できません。

※駐車スペースがありませんので、お車での来館はご遠慮ください。

※ふるさと館では、イベントホール（64名）、第1会議室（12名）、第2会議室（30名）、和室（10名）が利用できます。*今年度から個人登録者も利用できるようになりました。

一ふるさと館案内図一



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分